

熊本市 感染症発生動向調査 速報



今週のピックアップ感染症

今年も夏に流行のピークがありましたが、冬場にも小さな流行がみられる年があります。以下の点に気をつけながら、感染予防に努めましょう。

●咽頭結膜熱(プール熱)

発熱、咽頭炎、眼症状を主とする小児の急性ウイルス性感染症で、プールでの感染も多く見られることから、プール熱とも呼ばれています。



◆どんな病気？

アデノウイルスによる感染症で、主に5歳以下の小児に多い病気です。プール内や、タオルを共用することによっても感染するため、「プール熱」とも呼ばれます。

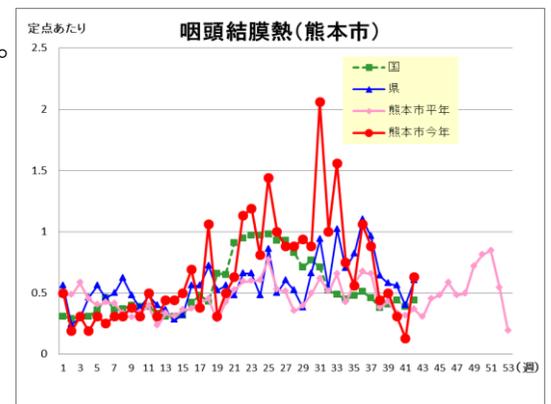
- ・症状………38～39℃の発熱、のどの炎症・痛み、眼の充血・痛み・目やになどが3～5日続きます。
- ・潜伏期間…5～7日
- ・感染経路…患者のくしゃみなどのしぶきを吸い込むことによる飛沫感染、ドアノブや手すりなどを介する接触感染で、とても感染力の強いウイルスです。
- ・流行期……6月ぐらいから増えてきて、7～8月に流行のピークを迎えます。

◆かかったらどうすればいいの？

- ・特別な治療法はありませんので、対症療法が中心になります。
- ・ほとんどは自然に治りますが、吐き気や頭痛、せきがひどいときには早めに医療機関を受診しましょう。

◆予防法は？

- ・手洗い、うがいが基本です。症状のある人との密接な接触は避けましょう。
- ・プールから上がったときはシャワーを浴び、目を洗い、うがいをしましょう。タオルの使い回しは避けましょう。
- ・症状のある人は、周りに広げないようにマスクや手洗いを徹底しましょう。



期 間		平成29年 41週		平成29年 42週	
		10/9～10/15		10/16～10/22(最新)	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ	➡	3	0.12	1	0.04
RSウイルス感染症	⚠➡	42	2.63	27	1.69
咽頭結膜熱(プール熱)	➡	2	0.13	10	0.63
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	➡	13	0.81	17	1.06
感染性胃腸炎	➡	33	2.06	45	2.81
水痘(みずぼうそう)	➡	1	0.06	4	0.25
手足口病	➡	17	1.06	16	1.00
伝染性紅斑(りんご病)	➡	0	0.00	2	0.13
突発性発しん	➡	10	0.63	3	0.19
百日咳	➡	0	0.00	0	0.00
ヘルパンギーナ	➡	0	0.00	2	0.13
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	➡	4	0.25	5	0.31
急性出血性結膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)	➡	10	2.00	9	1.80
細菌性髄膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎	➡	1	0.20	0	0.00
マイコプラズマ肺炎	➡	0	0.00	1	0.20
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	➡	0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	➡	0	0.00	0	0.00